

『標準的なフェリー・旅客船
航路情報フォーマット簡易作成ツール』
入力・作成マニュアル

Ver4

20220325

はじめに

本書は、国土交通省海事局が策定した「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」（以下、標準フォーマット）を事業者が簡易的な作成ツール（以下、本ツール）やその他支援ツールなどを用いて作成するにあたり、ツールの使い方を説明するものです。

動作環境

本ツールの動作環境は、下記の通りです。

- Microsoft Windows がインストールされていること
- インターネットに接続が可能なこと
 - 法人番号公表サイトへの接続
 - 港の座標、軌跡の座標を取得するために国土地理院サイトへの接続
- Microsoft Office Excel 2010以降がインストールされていること

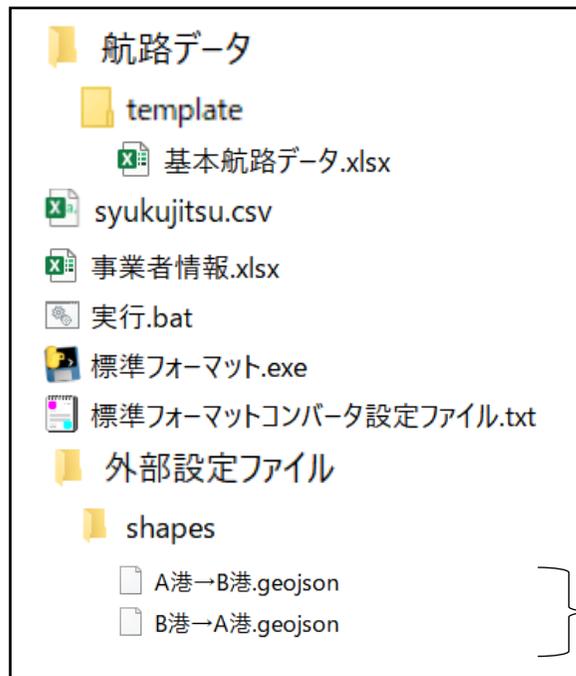
目次

- 1-1.本ツールの構成
- 1-2.Excelファイル凡例
- 1-3.作成に必要なデータ
- 1-4.作成手順
- 2-1.事業者情報の構成
- 2-2.事業者情報.xlsxの入力
- 3-1.基本航路データ.xlsxの構成
- 3-2.基本航路データ.xlsxの作成準備
- 3-3.基本航路データ.xlsxの入力
- 4.標準フォーマットの出力方法
- 5-1.データの検証について
- 5-2.データのメンテナンスについて
- 5-3.入力確認ツール（GTFS Viewer）
- 6.問い合わせ窓口

1-1.本ツールの構成

『標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット簡易作成ツール』は下記図のとおり構成されています。

標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット簡易作成ツール



- …各航路情報のファイルを収めるフォルダ
- …「基本航路データ」のオリジナルファイルを収めるフォルダ
- …航路情報を入力するファイル
- …祝日定義をするファイル
- …事業者の基本情報を入力するファイル
- …本ツールの起動ファイル
- …本ツール（実行プログラム）
- …本ツールの各種設定ファイル
- …各種外部ツールの入出力データを収めるフォルダ
- …航路の軌跡データを収めるフォルダ
- …航路の軌跡データ

1-2.Excelファイル凡例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	V	W	X	Y
1	ダイヤ												
2	便名	A港		B港		C港		A港		使用船体	運航日	航海ルート	注記
3		着	発	着	発	着	発	着	発				
4	1便		9:00	11:00	11:30	13:00	13:30	15:00		かいじ	全日	A港→B・C港→A港	
5	2便		15:00	16:30	17:00	18:30	19:00	20:30		やまと	土休	A港→B・C港→A港	

	A	B	C	D
1	車両・特殊手荷物			
2	区分	片道運賃	注記	ドライバー船賃
3	～3m未満	13340		含まない
4	3m～4m未満	16700		含む

Excelのファイルの各項目のセルについている色は次の意味になります。

※例示として基本的に各シート1行のみ着色しています

●緑色のセル（必須）

標準フォーマットで必ず入力が必要な項目です。この項目に入力がない場合、標準フォーマット作成時にエラーが出ます。

●白色のセル（任意）

標準フォーマットで必ずしも入力が必要ではない項目です。

●橙色のセル（GTFS標準外）

標準フォーマットに対応項目がありますが、GTFSの規格に含まれない拡張項目です。

●灰色のセル

標準フォーマットに対応項目がなく、入力が不要の項目です。

1-3.作成に必要なデータ

- 法人番号
もし法人番号がない場合はそれに代わるもので構いません
- 航路の情報がわかるもの
 - 寄港地
 - ダイヤ
 - 運航日
 - 船体の情報
 - 船賃
 - 車両、特殊手荷物の情報
 - 航海ルート

1-4.作成手順

- 本ツールは以下の手順で作業し、標準フォーマットを作成します

1. 「事業者情報.xlsx」の入力

2. 「基本航路データ.xlsx」を作成する

- a. 基本航路データは①～⑨までのシートがあります。基本的にはこの順に項目を入力してください。※ただし⑨だけは④と⑤の間で入力してください。
- b. 現状、1つの航路に対して複数の船賃を定義することはできません
同じ港間の運航でも高速船など船舶の違いなどで船賃が異なる場合には別の航路として分けて作成してください
- c. 従来、航路ごとに「基本航路データ.xlsx」を作成していただいていたのですが、ver4より複数の航路情報を1ファイルに入力できるようになりました。なお、従来の「基本航路データ.xlsx」もそのままご利用いただけます。
ただし、「CalendarEditor.exe」「運転日定義.txt」は利用できません。

3. 航路情報を入力し終わったら、作成に必要な設定ファイルを編集します

4. 最後に「実行.bat」をダブルクリックすると、標準フォーマットが作成されます

5. もし作成時にエラーの表示が出た場合は、エラーの内容に従い「1」か「2」の手順に戻り修正を行ってください

次項からは具体的に項目の入力の仕方について説明します

2-1.事業者情報.xlsxの構成

『事業者情報.xlsx』は、10の項目で構成されています。

	A	B
1	① 事業者名	
2	② 法人番号	
3	③ 代表者名	
4	④ 郵便番号	
5	⑤ 本社住所	
6	⑥ 電話番号	
7	⑦ FAX番号	
8	⑧ 航路ホームページ	
9	⑨ 乗船券購入ページ	
10	⑩ 事業者Eメールアドレス	

2-2.事業者情報.xlsxの入力

	A	B
1	事業者名	
2	法人番号	
3	代表者名	
4	郵便番号	
5	本社住所	
6	電話番号	
7	FAX番号	
8	航路ホームページ	
9	乗船券購入ページ	
10	事業者メールアドレス	

事業者情報

1 事業者情報（必須）

- a. 一般旅客に案内している名称を入れます
 - I. 法人名と一致している場合：法人名を入力します。「株式会社／(株)」等の法人格の入力は自由です
 - i. 例) 佐渡汽船株式会社
「佐渡汽船」または「佐渡汽船株式会社」を入力
 - II. ブランド名や通称・愛称など旅客に案内したい名称がある場合：その名称を入力します
 - I. 例) オーシャンストラス株式会社
「オーシャン東九フェリー」のブランド名を入力します
- b. 実際に事業を運営する主体と、船を運航させる事業者が別の場合、事業を運営する主体となっている事業者の名称を入れます。
事業者情報の他の項目も同様です

2-2.事業者情報.xlsxの入力

	A	B
1	事業者名	
2	法人番号	
3	代表者名	
4	郵便番号	
5	本社住所	
6	電話番号	
7	FAX番号	
8	航路ホームページ	
9	乗船券購入ページ	
10	事業者Eメールアドレス	

事業者情報

2 法人番号（必須）

- 事業者の法人番号13桁を入れます
- 法人番号は下記のWebサイトで調べることが可能です。その他法人番号がわかる書類などがあれば、そちらを参照します。
- <https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>
- 法人番号を選んでコピーし、法人番号の入力欄をダブルクリックして、法人番号を貼り付けてください
- 自治体が事業を行っている場合、自治体の法人番号を入れてください

2-2.事業者情報.xlsxの入力

	A	B
1	事業者名	
2	法人番号	
3	代表者名	
4	郵便番号	
5	本社住所	
6	電話番号	
7	FAX番号	
8	航路ホームページ	
9	乗船券購入ページ	
10	事業者Eメールアドレス	

事業者情報

3 代表者名

- 代表取締役の氏名、自治体であれば運航を担当する部課長の氏名、漁協であれば組合長、理事長等の氏名を入力します

4 郵便番号

- 事業者の本社所在地の郵便番号を入れます。ハイフンは入れなくても問題ありません。自動的にハイフンが入力されます
- 自治体の場合、運航を担当する部課がある庁舎の郵便番号を入れます
- 漁協の場合、事務所の郵便番号を入れます

5 本社住所

- 事業者の本社所在地の住所を入れます
- 自治体の場合、運航を担当する部課のある庁舎の住所を入れます
- 漁協の場合、事務所の住所を入れます

2-2.事業者情報.xlsxの入力

	A	B
1	事業者名	
2	法人番号	
3	代表者名	
4	郵便番号	
5	本社住所	
6	電話番号	
7	FAX番号	
8	航路ホームページ	
9	乗船券購入ページ	
10	事業者Eメールアドレス	

事業者情報

6 電話番号（推奨）

- 運航についての問い合わせ先となる電話番号を入れます。ハイフンはつけても、つけなくてもどちらでも問題ありません。電話番号のハイフンは補完されませんが、問題ありません
- 運航についての問い合わせを受ける専門の番号がない場合は、事業者の代表電話番号を入れます

7 FAX番号

- 運航についての問い合わせ先となるFAX番号を入れます
- 運航についての問い合わせを受ける専用の番号がない場合は、事業者の代表FAX番号を入れます

2-2.事業者情報.xlsxの入力

	A	B
1	事業者名	
2	法人番号	
3	代表者名	
4	郵便番号	
5	本社住所	
6	電話番号	
7	FAX番号	
8	航路ホームページ	
9	乗船券購入ページ	
10	事業者Eメールアドレス	

事業者情報

8 航路ホームページ（必須）

- 航路の時刻や乗り場等、航路についての情報を案内しているホームページのURLを入れます
- 会社案内をするコーポレートサイトのURLではありませんのでご注意ください
 - 例：東九フェリー
 - 正) <https://www.otf.jp/>
→航路の案内サイト
 - 誤) <http://www.ocean-trans.co.jp/>
→会社概要サイト
- 事業者で航路を案内するホームページを持っておらず、観光案内所等のホームページで案内されている場合、観光案内所の航路について説明しているページのURLを入れてください

2-2.事業者情報.xlsxの入力

	A	B
1	事業者名	
2	法人番号	
3	代表者名	
4	郵便番号	
5	本社住所	
6	電話番号	
7	FAX番号	
8	航路ホームページ	
9	乗船券購入ページ	
10	事業者Eメールアドレス	

事業者情報

9 乗船券購入ページ（推奨）

- インターネットから乗船券を予約・販売ができる場合、予約・販売ページのURLを入れてください
- インターネットでの販売をしていない場合は入力不要です

10 事業者Eメールアドレス（推奨）

- 運航についての問い合わせ先となるEメールアドレスを入れます
- 運航についての問い合わせを受ける専用のEメールアドレスがない場合は、事業者の問い合わせ全般を受けるEメールアドレスを入れます

3-1.基本航路データ.xlsxの構成

『基本航路データ.xlsx』は、9つのシートで構成されています。



- ①航路
- ②のりば
- ③船の紹介
- ④運航日
- ⑤ダイヤ
- ⑥旅客運賃
- ⑦車両・特殊手荷物
- ⑧アラート
- ⑨運航日_特定日

このうち、①航路、⑤ダイヤ、⑥旅客運賃、⑦車両・特殊手荷物 の4シートは航路別に情報を入力します。10航路分の登録が可能です。

⑧アラートシートでは各行で①航路シートで登録した航路名をプルダウンから指定します。それ以外のシートは航路共通で情報を入力します。

3-2.基本航路データ.xlsxの準備

- 「基本航路データ.xlsx」は、従来1航路につき1ファイル作成する必要がありましたが、ver4より1ファイル内に複数航路データを入力可能になり、1事業者につき1ファイル用意することになりました。
- ただし、1航路で2つの船種があって、それぞれ運賃が異なる場合は、船種ごとに別航路として分けて作成しなければなりません。
- 「基本航路データ.xlsx」は、ファイルの名前を変更しても支障がないので、誤りを防ぐため、**下記の通りファイル名を変更して作成することをお勧めします。**



1. 「航路データ」フォルダ内の「template」フォルダを開き、「基本航路データ.xlsx」を右クリックして「コピー(C)」を選択します。
2. 「航路データ」フォルダに戻って、フォルダ内の適当な場所で右クリックして「貼り付け(P)」を選択します。
3. 「航路データ」フォルダ内に「基本航路データ.xlsx」が作成されます。
4. 「航路データ」フォルダ内の「基本航路.xlsx」を右クリックして「名前の変更(M)」を押し、わかりやすい名前を入力します
 - a. 例) 事業者名と改正日の組み合わせなど
株式会社A_2022年4月改正.xlsx
5. **「template」フォルダ内の「基本航路データ.xlsx」には入力しないでください。**
6. 次項以降は作成した各ファイルごとに各シートの項目を入力していきます

3-3-1.基本航路データ.xlsxの入力シート「①航路」

航路の情報を入力するシートです。

航路01の航路情報	航路01		
	種別	距離	航路URL
	フェリー		
	航路名	所要時間	航路色
			青
航路02の航路情報	航路02		
	種別	距離	航路URL
	フェリー		
	航路名	所要時間	航路色
			青
..... 航路03~08 略			
航路09の航路情報	航路09		
	種別	距離	航路URL
	フェリー		
	航路名	所要時間	航路色
			青
航路10の航路情報	航路10		
	種別	距離	航路URL
	フェリー		
	航路名	所要時間	航路色
			青

航路情報 航路の情報を入力します。10航路分までの情報を入力できます。

3-3-1.基本航路データ.xlsxの入力シート「①航路」

航路の情報を入力するシートです。

	A	B	C
1		航路	
2	種別	距離	航路URL
3	フェリー		
4	航路名	所要時間	航路色
5	A港～B港		青

①航路

種別
フェリー
フェリー
旅客船
高速船
遊覧船
貨物船

1. 種別（任意）

- 航路に適合する運航種別をリストから選んでください。
標準フォーマットには反映される項目ではないため、
近い種別を選択するだけで問題ありません。

【アドバイス】

情報フォーマットに、船の種別を反映させたい場合は、シート「③船の紹介」の船体名に入力してください。（参照P.○）

3-3-1.基本航路データ.xlsxの入力シート「①航路」

	A	B	C
1		航路	
2	種別	距離	航路URL
3	フェリー		
4	航路名	所要時間	航路色
5	A港～B港		青

①航路

2. 距離（任意）

- 航路の総距離を入力してください。小数点1桁のkm単位で入力してください。

3. 航路URL（必須）

- この航路に関する情報が掲載されたホームページのURLを入力してください。

3-3-1.基本航路データ.xlsxの入力シート「①航路」

	A	B	C
1	航路		
2	種別	距離	航路URL
3	フェリー		
4	航路名	所要時間	航路色
5	A港～B港		青

①航路

4. 航路名（必須）

- この航路の運航ルートが一目でわかりやすい航路名を入力してください。
- 発～経由～着の名称より、一般的に浸透している呼称があればそちらを入力することを推奨します。
 - 例) 宮島航路

5. 所要時間

- この航路の総平均所要時間を入力してください。分単位または時間-分単位で入力します。
 - 例1) 40分 例2) 1時間50分

3-3-1.基本航路データ.xlsxの入力シート「①航路」

	A	B	C
1	航路		
2	種別	距離	航路URL
3	フェリー		
4	航路名	所要時間	航路色
5	A港～B港		青

①航路

6. 航路色（任意）

- この航路のイメージとなる色をリストから選択してください。
- あるいは航路のイメージ色を規格として定めている場合、イメージ色のHTMLカラーコード（RGBコード）を”#”をつけずに入力してください。
 - 例) 00ff00
- 入力しない場合、自動的に色は「白」となります。

航路色
青
赤
青
黄
緑
灰
黒
橙

3-3-2.基本航路データ.xlsxの入力シート「②のりば」

航路で使用されている港の情報を入力するシートです。

のりば										
1	港名	港よみ	乗り場	港緯度	港経度	港URL	英語名	繁体字名	簡体字名	韓国語名
	A港	えいこう		34.35867	132.4174					
	B港	びいこう		34.30286	132.3227					

②のりば

1 港名（必須）

- この港の名称を入力してください
- 従来、港は停泊順に入力する必要がありましたが、ver3.1では停泊順である必要はありません。
- 従来、港間を循環して運航するなど、1便で同じ港に複数回寄港する場合、寄港する回数分の港の定義を作成する必要がありましたが、ver3.1では複数回寄港する場合でも1つの港は1行だけ記述すれば十分です。（同じ港を複数行記述してもエラーにはなりません。）
- 従来、このツールでは港を10か所までしか入力することができませんでしたが、ver3.1ではこの制限はなくEXCELの有効行数の上限まで入力可能です。

3-3-2.基本航路データ.xlsxの入力 シート「②のりば」の設定方法について

- 上りと下りで寄港する順番が異なる場合の港名の設定方法
(例) 上り：A⇒B⇒C⇒D / 下り：D⇒B⇒C⇒A

港名
A港
B港
C港
D港

シート「②のりば」



1	ダイヤ										
2	便名	A港		B港		C港		B港		D港	
3		着	発	着	発	着	発	着	発	着	発
4											
5	上り		①	②	②	③	③	記入しない	④		
6	下り	④		記入しない		③	③	②	②		①
7											

シート「⑤ダイヤ」

【アドバイス】

シート「⑤ダイヤ」で、寄港順にダイヤが入力できるように、入力の順番を検討する必要があります。

(従来と異なり、「②のりば」シートでは入力順を気にする必要はありません)

3-3-2.基本航路データ.xlsxの入力シート「②のりば」

港名	港よみ	乗り場	港緯度	港経度	港URL	英語名	繁体字名	簡体字名	韓国語名
A港	えいこう		34.35867	132.4174					
B港	びいこう		34.30286	132.3227					

②のりば

2 港よみ (必須)

- この港の読み方をひらがなで入力してください

3 乗り場 (任意)

- 旅客船と高速船で乗り場が異なる、便によって乗り場が異なるなどの場合、この港の乗り場の名称を入力してください
- 乗り場が異なることがなく、乗り場の設定が必要ない場合は空白としてください

4 港緯度/港経度 (必須)

- 後述の座標の取得方法を参考にして乗り場の緯度、経度を入力してください
- 例) 139.0622

5 港URL (任意)

- 港に関する情報が掲載されたホームページのURLがあれば入力してください。

6 英語名/繁体字名/簡体字名/韓国語名 (任意)

- 港の英語・中国語（繁体字/簡体字）・韓国語名の表記があれば入力してください。

3-3-2.基本航路データ.xlsxの入力シート「②のりば」座標の取得方法

港や旅客ターミナルの座標情報（緯度・経度）は、国土地理院の電子国土webで確認することができます。

- ① 国土地理院の電子国土webを開きます。【 <https://maps.gsi.go.jp> 】



- ② 地図を拡大して、目的の場所へ移動、赤丸内の「+」「-」で拡大縮小、ドラッグで移動できます。又は、地図上の赤囲み欄に住所入力してEnter押下、すぐ下に表示される検索結果の住所にカーソルを合わせてクリックします。

3-3-2.基本航路データ.xlsxの入力 シート「②のりば」座標の取得方法



③ 座標を取りたい場所（港や乗り場）に画面中央の【+マーク】を合わせます。
そして、左図【赤枠①】の位置にある矢印にカーソルを合わせてクリックします。

④ 「+マーク」の住所や座標などの情報が記載されたものが表示されます。

⑤ 左図【赤枠②】の数値が「緯度 (37.929017)」、「経度 (139.061819)」となりますので、その数値をお使いください。



緯度

経度

3-3-3.基本航路データ.xlsxの入力シート「③船の紹介」

航路で使用されている船舶の情報を入力するシートです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	船の紹介									
2	船体名	総トン数	主機関馬力	機関数	航海速力	旅客定員	トラック搭載可能車両数	乗用車搭載可能車両数	就航年月	設備
3	かいじ									
4	やまと									

③船の紹介

① 船体名（必須）

- 船舶の名称を入力してください
- 後述のシート「⑤ダイヤ」で使用されます

【アドバイス】

本シートで定義した「船体名」は、シート「④ダイヤ」のV列「使用船体」とリンクしています。そのため、船体名の記入には下記の2通りに方法があります。

方法1：「使用する船が1隻のみの場合」または、「船がダイヤごとに明確に分けられている場合」は、それぞれ使用する船の名前を記入してください。

方法2：ダイヤと使用する船舶が紐づけられていない場合は、「やまと/かいじ」と記入するか、「フェリー」「高速船」等の船種での表記でも問題ありません。この場合、総トン数以下の項目の記入は必要ありません。

3-3-3.基本航路データ.xlsxの入力シート「③船の紹介」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		②	③	④	⑤	⑥				
2	船体名	総トン数	主機関馬力	機関数	航海速力	旅客定員	トラック搭載可能 車両数	乗用車搭載可能 車両数	就航年月	設備
3	かいじ									
4	やまと									

③船の紹介

- ② 総トン数（任意）**
船舶の重量をトン単位で入力してください。
- ③ 主機関馬力（任意）**
馬力を入力してください。
- ④ 機関数（任意）**
主機関の数を入力してください。
- ⑤ 航海速力（任意）**
航海速力の平均値をノット単位で入力してください。
- ⑥ 旅客定員数（任意）**
最大旅客定員数を入力してください。

3-3-3.基本航路データ.xlsxの入力シート「③船の紹介」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	船の紹介									
2	船体名	総トン数	主機関馬力	機関数	航海速力	旅客定員	トラック搭載可能車両数	乗用車搭載可能車両数	就航年月	設備
3	かいじ									
4	やまと									

③船の紹介

- 7** **トラック搭載可能車両数（任意）**
トラックの最大積載可能数を入力してください。
- 8** **乗用車搭載可能車両数（任意）**
普通乗用車の最大積載可能数を入力してください。
- 9** **就航年月日船舶の就航（任意）**
船舶の就航年月日を「年号のローマ字」 + 「元号年(2桁)」 「月（2桁）」 で入力してください。
例) R0106 ※令和元年6月
- 10** **設備（任意）**
船舶の設備を入力してください。
例) バリアフリー、Wifi

3-3-4.基本航路データ.xlsxの入力シート「④運航日」

○ シート「⑤ダイヤ」で設定するダイヤの運航日を設定するシートです。

運航日の記述方法は2通りあります。以下のいずれかの方法で入力してください

方法1：本シート「④運航日」のみを用いて運航曜日、期間、運休日を設定する方法

定義	運航日														
	曜日								期間		運休日				
	月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了					
全日	○	○	○	○	○	○	○	○	20220401	20221231	20220405	20220506			
平日	○	○	○	○	○	×	×	×	20220401	20221231					
土休	×	×	×	×	×	○	○	○	20220401	20221231					

方法2：本シート「④運航日」では「定義名」のみ記述し、具体的な運航日程は「⑨運航日_特定」シートで設定する方法

定義	運航日														
	曜日								期間		運休日				
	月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了					
全日	○	○	○	○	○	○	○	○	20220401	20221231	20220405	20220506			
平日	○	○	○	○	○	×	×	×	20220401	20221231					
土休	×	×	×	×	×	○	○	○	20220401	20221231					
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	○	○	×	○	○	×	×	×	20220406	20220429					
4月ドッグダイヤ									20220401	20220430					



運航日(特定日)	
定義	日付

④運航日

⑨運航日_特定日

単純な運航スケジュールのみの場合は1の方法で十分ですが、複雑な運航日程がある場合や特定日だけの運行指定をしたい場合には2の方法を用いてください。

3-3-4.基本航路データ.xlsxの入力シート「④運航日」

方法 1

1 定義	運航日									期間		運休日				
	曜日									開始	終了					
	月	火	水	木	金	土	日	祝								
全日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20220401	20221231	20220405	20220506			
平日	○	○	○	○	○	×	×	×	×	20220401	20221231					
土休	×	×	×	×	×	○	○	○	○	20220401	20221231					

④運航日

1 定義の設定

- a. 運航日の日程ごとに名称を付けて入力してください。この名称はこのシート内で他の定義と重複しないように設定してください。
- b. この定義はシート「⑤ダイヤ」で使用されます。
- c. 季節によってダイヤが変わる場合などには以下のように定義を分けます。

定義	曜日									期間	
	月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了	
夏季以外ダイヤ_全日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20220401	20220731
夏季ダイヤ_全日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20220801	20221030

- d. 運航日によって船体が変わる場合は以下のようにします。シート「⑤ダイヤ」で船体名を"/"で繋ぐなどの方法をとっている場合には分ける必要はありません。

定義	曜日									期間	
	月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了	
かいじ運航日	○	×	○	×	○	×	○	×	20220401	20220731	
やまと運航日	×	○	×	○	×	○	×	○	20220401	20220731	

- e. 方法 1 の場合、設定した名称に対して次項以降の曜日、期間、運休日の設定をします。

3-3-4.基本航路データ.xlsxの入力シート「④運航日」

方法 1

定義	曜日								期間		運休日			
	月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了				
全日	○	○	○	○	○	○	○	○	20220401	20221231	20220405	20220506		
平日	○	○	○	○	○	×	×	×	20220401	20221231				
土休	×	×	×	×	×	○	○	○	20220401	20221231				

④運航日

2 曜日

- その定義で運航する曜日を○/×のリストから選択してください
- 祝日にも運航する場合には「祝」に「○」を選択してください。ここを「×」とした場合、「月」に「○」を設定していても祝日に該当する月曜日は運休となります
- 祝日の定義については「syukujitsu.csv」に記録されている祝日に対応しています。このファイルは内閣府のホームページからダウンロードが可能です。
(<https://www8.cao.go.jp/chosei/shukujitsu/gaiyou.html>)

3 期間

- その定義で運航する期間を開始、終了それぞれに入力してください
- 期間は数値8桁（年4桁、月日4桁）で入力します
 - 例) 20220401

4 運休日

- 前述の「曜日」と「期間」で定義した運航期間について、例外的に運休となる日付がある場合（ドック期間、お盆・年末年始など）に入力してください。フォーマットではP列で終わっていますが、**P列以降の入力も可能**です
- 期間同様、数値8桁（年4桁、月日4桁）で入力します

3-3-4.基本航路データ.xlsxの入力 シート「④運航日」 + 「⑨運航日_特定日」

方法 2

運航日設定方法 2 の設定方法です。

運航日															
定義	曜日								期間		運休日				
	月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了					
全日	○	○	○	○	○	○	○	○	20220401	20221231	20220405	20220506			
平日	○	○	○	○	○	×	×	×	20220401	20221231					
土休	×	×	×	×	×	○	○	○	20220401	20221231					
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	○	○	×	○	○	×	×	×	20220406	20220429					
4月ドッグダイヤ									20220401	20220430					

④運航日

- ① シート「④運航日」に定義を設定する
 - a. 方法 2 で追加したい運航日の定義名をシート「④運航日」の「定義」に記述してください

3-3-4.基本航路データ.xlsxの入力 シート「④運航日」 + 「⑨運航日_特定日」

方法 2

定義	日付
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220406
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220407
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220408
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220409
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220410
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220411
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220421
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220422
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220423
4月6日～4月29日運航 (水曜日定期定休)	20220424
4月ドッグダイヤ	20220401
4月ドッグダイヤ	20220405
4月ドッグダイヤ	20220410

- ② シート「⑨運航日_特定日」に定義を設定する
 - a. 「④運航日」の「定義」に記述した定義名をプルダウンから選択してください
- ③ シート「⑨運航日_特定日」に日付を設定する
 - a. その定義名で運航する日付を列記します。
 - b. 数字8桁（YYYYMMDD形式）で入力してください

3-3-5.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑤ダイヤ」

便ごと運航時刻と運航経路を入力するシートです。
シート「④運航日」と併せて、便ごとの運航パターンを設定します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	V	W	X	Y
	ダイヤ												
2	便名	A港		B港		C港		A港		使用船体	運航日	航海ルート	注記
3		着	発	着	発	着	発	着	発				
4	1便		9:00	11:00	11:30	13:00	13:30	15:00		かみし	全日	A港→B・C港→A港	
5	2便		15:00	16:30	17:00	18:30	19:00	20:30		やまと	土休	A港→B・C港→A港	
6	3便	19:00				17:00	17:30		15:30	かみし	全日	A港→C港→A港	
7	4便	24:30				22:30	23:00		21:00	やまと	土休	A港→C港→A港	

⑤ダイヤ

① 便名（必須）

- 就航する便の便番号を入力してください。特に便番号を定めていない（案内していない）場合、出発時刻が早い順に1便、2便とつけてください
 - 例) 1便、1号

3-3-5.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑤ダイヤ」

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	V	W	X	Y
1	ダイヤ												
2	便名	A港	B港	C港	A港	使用船体	運航日	航海ルート	注記				
3		往路											
4	1便	9:00	11:00	11:30	13:00	13:30	15:00	カルビ	全日	A港→B・C港→A港			
5	2便	15:00	16:30	17:00	18:30	19:00	20:30	やまと	土休	A港→B・C港→A港			
6	3便	19:00	寄港しない		17:00	17:30	15:30	カルビ	全日	A港→C港→A港			
7	4便	24:30	寄港しない		22:30	23:00	21:00	やまと	土休	A港→C港→A港			

2 着/発 (必須)

- シート「②のりば」で定義した港名がプルダウン表示されますので、寄港順にプルダウンから選択してください。
- 各便各港の発時刻と着時刻を入力してください。
 - 午前6時であれば”6:00”、午後6時であれば”18:00”と入力します
 - 最初の港の着時刻と最後の港の発時刻は不要です
- 停泊する順に時刻を入力するため、基本的に復路の場合は右から順に時刻を入れることになります
- 港を通過する（寄港しない）場合は発/着時刻を空欄にしてください（例：左図緑網掛け。復路のB港）
- 左図4便のように発/着時刻が翌日にまたがる場合、24:00を超える表記にしてください

3-3-5.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑤ダイヤ」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	V	W	X	Y
1	ダイヤ												
2	便名	A港		B港		C港		A港		使用船体	運航日	航海ルート	注記
3		着	発	着	発	着	発	着	発				
4	1便		9:00	11:00	11:30	13:00	13:30	15:00		かん心	全日	A港→B・C港→A港	
5	2便		15:00	16:30	17:00	18:30	19:00	20:30		やまと	土休	A港→B・C港→A港	
6	3便	19:00				17:00	17:30		15:30	かん心	全日	A港→C港→A港	
7	4便	24:30				22:30	23:00		21:00	やまと	土休	A港→C港→A港	

⑤ダイヤ

③ 使用船体（必須）

- この便で使用される船体を選択してください。
- 日程により使用する船体が異なる場合、便を分けて後述の「運航日」の設定をするか、船体名を「船体A／船体B」のように記述してください。

④ 運航日（必須）

シート「④運航日」で定義した運航日をリストから選択します。
 ※シート「④運航日」の定義については次項で説明します。

⑤ 航海ルート（任意）

この便で使用される航路の軌跡データのファイル名を入力します。
 ※航路の軌跡データ(geojsonファイル)の作成方法については後述します。

⑥ 注記（任意）

本便について利用者に何らかの注意を促したい文言がある場合、簡潔に入力してください。

3-3-6.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑥旅客運賃」

旅客運賃の情報を入力するシートです。

航路01の旅客運賃

The screenshot shows two sections of the spreadsheet for Route 01. The top section is titled '【必須】航路01の旅客運賃(大人・基本料金)' and contains a grid of input fields. The bottom section is titled '【任意】航路01の旅客運賃' and also contains a grid of input fields. Both sections have a header row with blue shading and a footer row with orange shading. The footer row contains the labels '旅客運賃名' and '運賃名任意01'.

航路02の旅客運賃

The screenshot shows two sections of the spreadsheet for Route 02. The top section is titled '【必須】航路02の旅客運賃(大人・基本料金)' and contains a grid of input fields. The bottom section is titled '【任意】航路02の旅客運賃' and also contains a grid of input fields. Both sections have a header row with blue shading and a footer row with orange shading. The footer row contains the labels '旅客運賃名' and '運賃名任意02'.

...

旅客運賃情報 旅客運賃の情報を入力します。10航路分の情報を入力できます。

3-3-6.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑥旅客運賃」

旅客運賃情報を入力するシートです。
 基本的には、大人普通運賃を記入して下さい。
 任意で基本料金以外の運賃も記入することができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	【必須】旅客運賃(大人:基本料金)									
2	A港	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	3500	B港	-	-	-	-	-	-	-	-
4	5500	2500	C港	-	-	-	-	-	-	-
5		3500	5500	A港	-	-	-	-	-	-
6										
7										
8										
9										
10										
11	旅客運賃名	大人片道料金								
12										
13	【任意】旅客運賃									
14	A港	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	1750	B港	-	-	-	-	-	-	-	-
16	2750	1250	C港	-	-	-	-	-	-	-
17		1750	2750	A港	-	-	-	-	-	-
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24	旅客運賃名	小人片道料金								

⑥旅客運賃

説明文は次ページに続きます。

3-3-6.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑥旅客運賃」

① 運賃三角表の入力（上段：必須、下段：任意）

- a. シート「②のりば」で定義した港名が自動的に三角表の角に入力されています。各セルに旅客運賃を入力してください。運賃にはカンマを含めないでください。
- b. 運賃の設定がない場合は空白としてください。
- c. 1便で同じ港に2回以上停泊する場合はその運賃も入力してください。ただし、同じ港同士の運賃を入力する必要はありません。

② 旅客運賃名（上段：必須、下段：任意）

- a. この運賃となる旅客運賃種名・船室名を入力してください。（例：大人片道、二等客室 等）

3-3-7.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑦車両・特殊手荷物」

旅客運賃の情報を入力するシートです。

航路01の車両・特殊手荷物

航路01の車両・特殊手荷物			
区分	片道運賃	注記	ドライバー船賃
～3m未満			
3m～4m未満			
4m～5m未満			
5m～6m未満			
6m～7m未満			
7m～8m未満			
8m～9m未満			
9m～10m未満			
10m～11m未満			
11m～12m未満			
12m～13m未満			
1mごと割増し			
自転車			
原動機付自転車			
自動二輪車			
大型自動二輪車			

航路02の車両・特殊手荷物

航路02の車両・特殊手荷物			
区分	片道運賃	注記	ドライバー船賃
～3m未満			
3m～4m未満			
4m～5m未満			
5m～6m未満			
6m～7m未満			
7m～8m未満			
8m～9m未満			
9m～10m未満			
10m～11m未満			
11m～12m未満			
12m～13m未満			
1mごと割増し			
自転車			
原動機付自転車			
自動二輪車			
大型自動二輪車			

...

車両・特殊手荷物情報 車両・特殊手荷物の情報を入力します。10航路分の情報を入力できます。

3-3-7.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑦車両・特殊手荷物」

車両・特殊手荷物の積載可否と片道運賃の情報を入力するシートです。

	A	B	C	D
1			⑦ 車両・特殊手荷物	
2	区分	片道運賃	注記	ドライバー船賃
3	～3m未満	13340		含まない
4	3m～4m未満	16700		含む
5	4m～5m未満	20060		
6	5m～6m未満	27470		
7	6m～7m未満			
8	7m～8m未満			
9	8m～9m未満			
10	9m～10m未満			
11	10m～11m未満			
12	11m～12m未満			
13	12m～13m未満			
14	1mごと割増し			
15	自転車			
16	原動機付自転車			
④	自動二輪車			
	大型自動二輪車			

⑦車両・特殊手荷物

複数港間がある航路では、いずれか1つの区間の片道運賃を入力してください。
例：最長区間、一番利用が多い区間等
採用した定義を注記欄に記入して下さい。

- ① 片道運賃（任意）
 - a. 区分ごとにそれぞれの片道運賃を入力してください。
 - b. それぞれの区分について船舶への積載、持ち込みが不可能な場合は「不可」と入力してください。
 - c. 作成している航路に関して、港間により車両・特殊手荷物の料金が異なる場合、最も高い金額の区間を入力してください。
- ② 注記（任意）
 - a. 車両や特殊手荷物について注記がある場合に入力してください。
- ③ ドライバー船賃（任意）
 - a. 片道運賃にドライバーの船賃が含まれるかどうか選択してください。
 - b. 何も選択されていない場合は「含む」とみなします。
- ④ 自動二輪車、大型自動二輪車について
 - a. 自動二輪車とそれより大型な自動二輪車の基準は自社の規約に従ってください

3-3-8.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑧アラート」

本項目は、アラートデータを作成し、公表する予定がある事業者が対象です。アラートデータの作成・公表を行わない事業者は、記入する必要はありません。

- 当該航路で発生している運休情報等の現在の運航に関する事象について入力するシートです。
- 本シートに入力した項目は、標準フォーマットとは別に出力されます。
- **該当する情報がない場合は、記入する必要はありません。**

航路名	見出し	内容	原因	影響	開始日	終了日
[01]A航路	天候不良による運航情報	天候不良の影響で波が荒れており、4月1日現在、すべての便の運航を中止しております。4月2日の運航にも影響が出る可能性がありますのでご注意ください。	天候	運休	20220401	20220402

【注意点】

- ・アラートデータは航路毎に記入する必要があります。
 - ・同様に、同一航路でも船種毎に別航路を作成している場合は、その航路毎にアラート情報を記入してください。
- ※上の例は直近の時限的な内容ではありますが、GTFSデータを活用する事業者等は（直接的な契約が無い場合は）日々のデータを入手しての情報展開まではしていないのが現状です。実務的には中長期的な情報掲載が適切であります。

3-3-8.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑧アラート」

1 航路名	2 見出し	3 内容	4 原因	5 影響	6 開始日	終了日
[01]A航路	天候不良による運航情報	天候不良の影響で波が荒れており、4月1日現在、すべての便の運航を中止しております。4月2日の運航にも影響が出る可能性がありますのでご注意ください。	天候	運休	20220401	20220402

1 航路名

a. 表示したいアラート情報の航路名を入力します

2 見出し

a. 表示したいアラート情報の概要を入力します

3 内容

a. 表示したい情報の詳細を記述します。後述の「開始日」「終了日」はアラートが表示される期間であり、具体的に影響する日程がわかる場合には詳細な日付を入力することが推奨されます

4 原因

a. このアラートの原因を選択します（右図③）。天候、メンテナンスなどが選択できます
 b. 該当する項目がない場合は「原因不明」とします

5 影響

a. このアラートによる影響を選択します（右図④）。運休、減便などが選択できます
 b. 該当する項目がない場合は「影響不明」とします。

6 開始日、終了日

a. このアラートが表示される期間を入力します。開始日の00:00:00～終了日の23:59:59までが期間になります
 b. 開始日/終了日は年月日の8桁数値を入力します
 c. 開始日、終了日のいずれかが必須となります

The image shows two dropdown menus. The first menu, labeled '原因' (Cause), has '天候' (Weather) selected. The second menu, labeled '影響' (Impact), has '深刻な遅れ' (Significant delay) selected. Red arrows from the table above point to these menus, with '4' pointing to the '原因' menu and '5' pointing to the '影響' menu.

3-3-8.基本航路データ.xlsxの入力シート「⑧アラート」

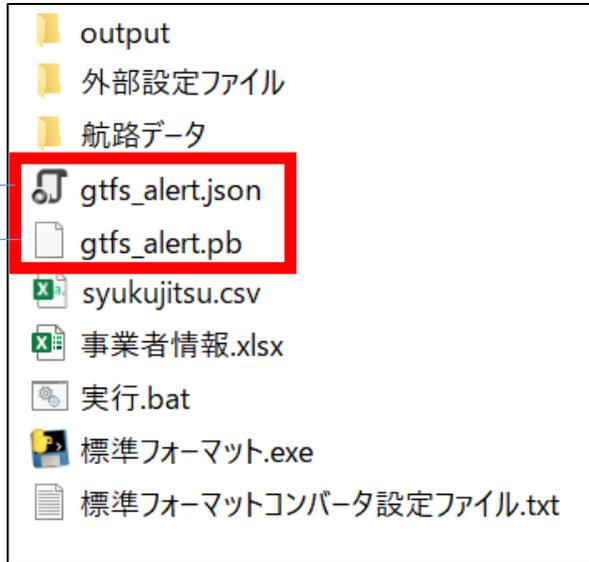
原因	補足	影響	補足
天候	WEATHER	運休	NO_SERVICE
船体の異常	TECHNICAL_PROBLEM	減便	REDUCED_SERVICE
事故	ACCIDENT	深刻な遅れ	SIGNIFICANT_DELAYS
船舶のメンテナンス	MAINTENANCE	迂回	DETOUR
原因不明	UNKNOWN_CAUSE	増便	ADDITIONAL_SERVICE
港付近の工事	CONSTRUCTION	ダイヤの変更	MODIFIED_SERVICE
その他	OTHER_CAUSE	その他の影響	OTHER_EFFECT
ストライキ	STRIKE	影響不明	UNKNOWN_EFFECT
デモ活動	DEMONSTRATION	停泊港の変更	STOP_MOVED
祝日	HOLIDAY		
警察による活動	POLICE_ACTIVITY		
緊急の病人への対応	MEDICAL_EMERGENCY		

選択可能なリストとして出るのは上図の「原因」と「影響」になります。

※補足はGTFSにおけるアラートで選択可能な項目名です

※日本語は航路データ向けの意識です

3-3-8.基本航路データ.xlsxの入力 シート「⑧アラート」



【gtfs_alert.pb】

アラートファイルの本体です。

【gtfs_alert.json】

アラートファイルの内容の確認用データです。

◆アラートファイル

- 標準フォーマットのコンバート後に出力される【gtfs_alert.pb】がアラートファイルです。
- 本ファイルはGoogle Protocol Buffer形式という特殊なデータとなっており、テキストエディタなどでは直接中身を参照することができません。
- そのため、テキストファイルで内容が確認可能なファイル【gtfs_alert.json】も同時に出力しますので、内容はこちらで確認してください。
- 確認して内容に誤りがあった場合は、出力された【gtfs_alert.pb】と【gtfs_alert.json】を削除したうえで、再度作成してください。
- 【gtfs_alert.pb】を公開することで運航情報の掲載が可能になります。

3-3-9.基本航路データ.xlsxの入力 軌跡ファイルの作成

シート「⑤ダイヤ」の「航海ルート」に定義する軌跡のファイルは国土地理院の地図サイトで作成します

- 1.国土地理院の地図サイトを開きます。(https://maps.gsi.go.jp)
- 2.左図【赤枠①】の「機能」をクリックすると設定などの選択が展開されます。
- 3.左図【赤枠②】「ツール」>左図【赤枠③】「作図・ファイル」を選択すると【赤枠④メニュー】が表示されます



3-3-9.基本航路データ.xlsxの入力 軌跡ファイルの作成



- 軌跡を取りたい場所周辺に移動します。
 - 方法については「②のりば」と同様です。
- 左図【赤枠②】の「/」マークを選択します。
 - 左図【赤枠③】のメニューが展開されます。
 - 左図【赤枠④】が地図上に表示されます。
 - この状態で軌跡データを作る準備が整います。

3-3-9.基本航路データ.xlsxの入力 軌跡ファイルの作成



6.地上に線を引いていきます。

- 地図上で最初の港の位置を左クリックし、目的の港までのルートを一筆書きで描いていきます。
- 左クリックを再度押しと線の節目を作ることができ、直線を折り曲げることができます。
- 曲線を描きたい場合は細かく左クリックを押して節目を作り区切ってください。
- 誤って節目を作ってしまった場合は、右クリックを押すことで節目を一つずつ削除することができます。
- ダブルクリックで線を確定させます。

3-3-9.基本航路データ.xlsxの入力 軌跡ファイルの作成

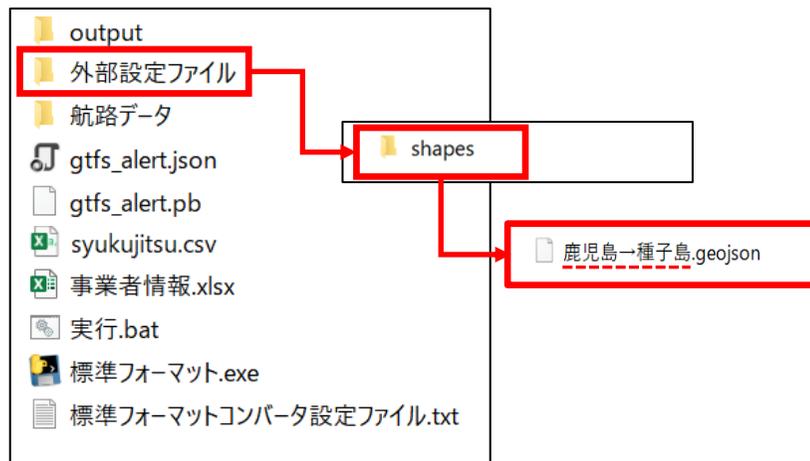


7. 航海ルート情報の保存

- ルートの描画が完了したら「作図・ファイル」メニューの確定（左図【赤枠①】）をクリックします。
- 名称や線の色といった他の情報の指定は不要です。
- 左図【赤枠②】の保存ボタンをクリックします。
- 保存する形式は「GeoJSON形式」を選択してください。
- 「上記の情報を保存」ボタンを押し、ファイルの保存を行います。
- 作成されたファイル名称は「gis+”現在時刻” + .geojson」となっていますので、描画した航海ルート名に変更します。
（例）「港A→港C」など
- データは「外部設定ファイル」フォルダの「shapes」フォルダに移動させてください。

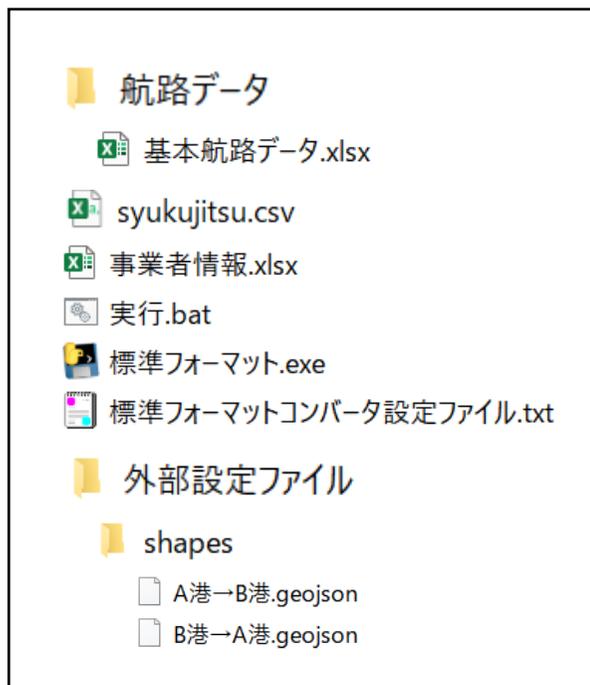
3-3-9.基本航路データ.xlsxの入力 軌跡ファイルの作成

使用船体	運航日	航海ルート
	全日	鹿児島→種子島
	平日	鹿児島→種子島



8. シート「⑤ダイヤ」での設定
 - a. 標準フォーマットのシート「⑤ダイヤ」の各便の「航海ルート」に作成した geojson ファイルを割り当てます。
 - b. ファイル名のみで拡張子 (.geojson) は不要です。
9. 軌跡データの座標について
 - a. 軌跡データないの緯度経度は地図上に航海ルートを描画するために用いられます。
 - b. 港の座標については「②のりば」で定義したものが案内されます。「②のりば」で定義した座標が軌跡上に含まれている必要はありませんが、あまりに離れている場合は警告となります。

4.標準フォーマットの出力方法



航路データの確認

- 作成した「基本航路データ.xlsx」が航路データが「航路データ」フォルダに含まれているか確認します。
- 作成した以外の「基本航路データ.xlsx」がフォルダに残っている場合、削除するか別のフォルダに移動させてください。

※ご注意

航路データフォルダ内の「template」フォルダに格納されている「基本航路データ.xlsx」は、オリジナルファイルです。これには入力しないで保存しておいてください。

4.標準フォーマットの出力方法

```
対象航路データフォルダ=航路データ↵  
事業者情報=事業者情報.xlsx↵  
出力フォルダ=output↵  
ver2対応外部ファイル=外部設定ファイル↵
```

2.標準フォーマットコンバータ設定ファイル.txtの編集

- a. 設定ファイルの編集は任意です。
- b. 設定ファイルの名称は変更しないでください。
- c. それぞれの項目は「項目名=設定」となっています。「=」を誤って消さないようにしてください。
- d. 編集可能な項目は以下の4つです。項目名は変更しないでください。
 - I. 対象航路データフォルダ
 - i. 航路データのエクセルが入っているフォルダ名を指定できます。
 - II. 事業者情報
 - I. 事業者情報を記入したエクセルファイルを指定できます。
 - III. 出力フォルダ
 - I. 標準データが出力されるフォルダ名を指定できます。
 - II. 事業者名の英語表記などにすることを勧めします。全角や日本語にすることも可能ですが、経路検索事業者などへの提供時に問題が生じる可能性があります。
 - IV. ver2対応外部ファイル
 - I. 外部設定ファイル（軌跡データ、運転日定義）が入ったフォルダ名を指定できます。

4.標準フォーマットの出力方法

3.「実行.bat」を実行

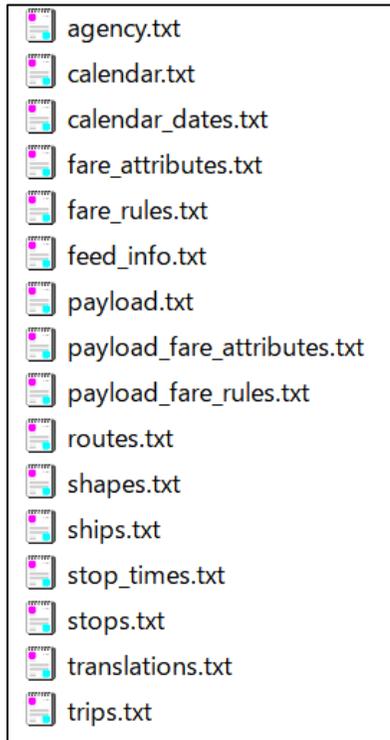
- a. 実行.batをダブルクリックします。
- b. 黒いウィンドウが表示され、標準フォーマットの作成が開始されます。
- c. コンバートが終了するとlog.txtが作成され自動的に開かれます。
- d. log.txtの最後の記述が以下であれば正常にデータが作成されています。

```
■標準フォーマットデータ作成開始←  
>標準フォーマットデータの作成が成功しました←
```

- e. log.txtを閉じると黒いウィンドウも閉じます。
- f. 入力してるエクセルファイルの内容に問題がある場合、log.txtに問題のあるエクセルファイル名、シート名などが表示されます。
- g. 以下のように表示される場合、標準データの出力には成功していますが、一部のデータが出力されていません。表示内容に沿ってデータを修正し、再度「実行.bat」を試してください。

```
■標準フォーマットデータ作成開始←  
航海ルートの指定ファイル“港A←港B.geojson”が設定されていますが、指定のフォルダに存在しません←  
>標準フォーマットデータの作成が完了しましたが、問題があります←  
>画面に表示されているエラーを確認してください←
```

4.標準フォーマットの出力方法



4.標準フォーマットデータの確認

- 入力フォーマットに正しく値を入れ、正常にコンバートされた場合、左図のファイルが出力先のフォルダに作成されています。
 - “shapes.txt”は軌跡ファイル設定時のみです。
- 入力フォーマットに記述項目がなく、どうしても追加で入力したい項目がある場合は出力ファイルを直接編集してください。
- その際は標準フォーマットの書式から外れるような編集を加えないよう注意が必要です。

5.データの提供

- “出力先のフォルダ名”.zip（初期設定では「output.zip」）が出力されていますので、こちらのファイルをご活用ください。
- なお出力後のファイルをテキストエディタなどでご自身で編集した場合、このzipファイルは使用できません。
- その場合、出力先のフォルダ内のファイルを全て選択した状態で、圧縮を行ってください。
フォルダを自動作成しない設定にする必要があります（圧縮ソフトにより設定が異なります）。

6.作成したデータの活用方法については、「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット活用ガイドライン」をご参照ください。

5-1. データの検証について

作成した標準フォーマットを検証するツールはいくつかありますが、ここではGTFSを検証するツールの代表的なものとして、「feedvalidator」があります。標準フォーマットはGTFSに準拠しているため、GTFSを検証するツールで、書式のチェックを行うことができます。

ただし、このツールで検証できるのは、あくまで「**GTFSの書式として正しいかであり、時刻・運賃が正しいか、誤字脱字がないか**」の検証は基本的にできません。

このツールを使用して出たエラー、警告については、書式としての誤りとなりますので、修正することが望まれます。

- エラー (error) : フォーマットとしての仕様違反や明らかな異常値です。必ず修正してください。
- 警告 (warning) : 実質的に問題の無い場合があります。標準フォーマットの仕様としてGTFSに追加されたファイルや項目について警告がでることがあります。

次項の警告については、標準フォーマットで拡張したもの等の理由で出るため、標準フォーマットとしては問題ありません。以下に該当する警告は修正する必要はありません。

5-1.データの検証について

警告の例(2019年4月現在)

警告	警告内容	警告説明	問題ない理由
Invalid Value	Invalid value ○○ in field route_long_name The same combination of route_short_name and route_long_name shouldn't be used for more than one route, as it is for the for the two routes with IDs "○○" and "○○".	複数の航路で同じ航路名が使われているという警告です	標準フォーマットではOPの扱いやすさの観点から、異なる航路で同じ航路名をつけることを許容していますので問題ありません
Unknown File	The file named payload.txt was not expected.～略～	payload.txtという不明なファイルが入っているという警告です	標準フォーマットで拡張したファイルなので問題ありません
Unknown File	The file named translations.txt was not expected.	translations.txtという不明なファイルが入っているという警告です	標準フォーマットで拡張したファイルなので問題ありません
Unrecognized Column	Unrecognized column agency_email in file agency.txt.～略～	agency.txtにagency_emailという不明な列があるという警告です	feedvalidatorが2019年4月時点のGTFSに対応していない場合に出ます。GTFSの正式な列ですので問題ありません

警告	警告内容	警告説明	問題ない理由
Unrecognized Column	Unrecognized column payload_id in file trips.txt.	trips.txtにpayload_idという不明な列があるという警告です	標準フォーマットで拡張した列なので問題ありません
Unrecognized Column	Unrecognized column agency_id in file fare_attributes.txt.	fare_attributes.txtにagency_idという不明な列があるという警告です	feedvalidatorが2019年4月時点のGTFSに対応していない場合に出ます。GTFSの正式な列ですので問題ありません
Unrecognized Column	Unrecognized column feed_contact_email in file feed_info.	feed_info.txtにfeed_contact_emailという不明な列があるという警告です	feedvalidatorが2019年4月時点のGTFSに対応していない場合に出ます。GTFSの正式な列ですので問題ありません
Unrecognized Column	Unrecognized column feed_contact_url in file feed_info.txt.	feed_info.txtにfeed_contact_urlという不明な列があるという警告です	feedvalidatorが2019年4月時点のGTFSに対応していない場合に出ます。GTFSの正式な列ですので問題ありません

5-2.データのメンテナンスについて

基本的に標準フォーマットに変換する為の元のデータを更新し、再度コンバートすることで対応が可能です。ただし、ダイヤ、運賃、停泊順などの改正前後両方に対応したデータを作成したい場合、改正前と改正後のデータの両方を作成する必要があります。

1. ダイヤ改正時

- a. シート「④運航日」「⑨運航日_特定日」にて改正後に使いたい運航日の定義に変更してください。
- b. シート「⑤ダイヤ」にて時刻を修正し、新しい運航日定義に変更してください。
- c. 改正日の前にデータを作成する場合、改正前の便と改正後の便の両方をシート「⑤ダイヤ」に記載し、運転日の定義を設定することで改正前後のデータを保持することが可能です。

5-2.データのメンテナンスについて

2. 運賃改定時

- シート「⑥旅客運賃」の運賃を更新してください。
- 標準フォーマットでは日付による運賃の変動には対応していません。
- 改正前後の運賃の両方をデータにしたい場合は同一の航路を2つに分けて作成することで対応可能です。

手順は以下の通りです。

- 「①航路」シートにおいて、同一航路名で2セットの航路情報を記入する。

例) 航路01に改正前の航路を、航路02に改正後の航路を記入

航路01		
種別	距離	航路URL
旅客船		http://abc.com
航路名	所要時間	航路色
運賃改定航路		赤

航路02		
種別	距離	航路URL
旅客船		http://abc.com
航路名	所要時間	航路色
運賃改定航路		赤

- 改正前のダイヤの期間終了日を運賃改定前日にし、改正後のダイヤの期間開始日を運賃改定当日にし、運賃を運賃改正後のものにする。

定義	運航日										
	曜日									期間	
	月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了	
運賃改定前の運航日	○	○	○	○	○	○	○	○	20220401	20220930	
運賃改定後の運航日	○	○	○	○	○	○	○	○	20221001	20221231	

運賃改定日前日

運賃改定日当日

- 「⑥旅客運賃」シートにて運賃改定前後それぞれの航路の運賃を記入する

5-2.データのメンテナンスについて

3.港・乗り場の名称変更、停泊港の変更時

- a.シート「②のりば」の港名、乗り場名を変更、追加してください。
- b.変更前後の両方をデータにしたい場合は2つの航路を作成することで対応可能です。運賃改正と同様の手順で可能です。
 - i) 「①航路」シートにおいて、同一航路名で2セットの航路情報を記入する。
例) 航路01に改正前の航路を、航路02に改正後の航路を記入
 - ii) 改正前のダイヤの期間終了日を運賃改定前日にし、改正後のダイヤの期間開始日を運賃改定当日にし、運賃を運賃改正後のものにする。
- c.航海ルートを追加/変更する場合は新しい軌跡ファイルを作成してください。

5-3.入力確認ツール（GTFS Viewer）

出力した標準データは一部の仕様を除きGTFSの仕様にも準拠しているため、有志で公開されているViewerツールが使用可能です。

●旭川工業高等専門学校 嶋田鉄兵助教のツール

<https://tshimada291.sakura.ne.jp/transport/gtfs-viewer/test-vw/>

インターネットブラウザ上に作成した標準データをアップロードして時刻表、shapes(軌跡データ)などを確認することができます。

6.問い合わせ窓口

標準フォーマットの作成にあたって、不明な点がございましたら下記の窓口へお問い合わせください。

関係部署名		メールアドレス	電話番号
北海道運輸局	海事振興部旅客・船舶産業課	hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp	011-290-1011
東北運輸局	海事振興部海事産業課	tht-kaijisangyo@mlit.go.jp	022-791-7512
関東運輸局	海事振興部旅客課	ktt-kaishin-ryokaku@mlit.go.jp	045-211-7214
北陸信越運輸局	海事部海事産業課	hrt-kaijisangyou@gxb.mlit.go.jp	025-285-9156
中部運輸局	海事振興部旅客課	cbt-chubu-s3@gxb.mlit.go.jp	052-952-8013
近畿運輸局	海事振興部旅客課	kkt-ko-kaiji@gxb.mlit.go.jp	06-6949-6416
神戸運輸監理部	海事振興部旅客課	kbm-kobe-r3@gxb.mlit.go.jp	078-321-3146
中国運輸局	海事振興部旅客課	cgt-ryokaku@gxb.mlit.go.jp	082-228-3679
四国運輸局	海事振興部海運・港運課	skt-shikoku-sp3@gxb.mlit.go.jp	087-802-6807
九州運輸局	海事振興部旅客課	qst-k-kaiji-ryokyaku@mlit.go.jp	092-472-3155
沖縄総合事務局	運輸部総務運航課	tokkyo-yusou.h5d@ogb.cao.go.jp	098-866-1836
国土交通省海事局内航課旅客航路活性化推進室		hqt-naikou-kourojouhou@gxb.mlit.go.jp	03-5253-8625